

年に一度の町民参加型  
スポーツの祭典

10月6日早朝、町民体育祭の開催を告げる信号花火が町内に響き渡りました。小雨がぱらつく、あいにくの天気でしたが、大会プログラムを一時中断し、大会スタート。大会が進むにつれ、天気は次第に雨模様から晴れ模様となり、暑ささえ感じる気候となりました。

会場のスポーツ・レクリエーション広場には選手や応援、見物する皆さんなど、約5,000人超が来場。町内対抗採点種目では、会場内がひととき盛り上がり、各地区のテントからは声援が飛び交っていました。

今年で55回目という節目の年を迎えた町民体育祭。邑楽村が誕生した年と同じ年の昭和32年10月13日に、中野小学校で「邑楽村第一回村民総合体育祭」として開催されたのが始まりで、その後、長い歴史を積み重ねてきました。

今年、町民体育祭を見事優勝で飾った地区は、1組が新中野チーム、2組が本郷江原チームでした。地区の皆さんが一丸となって勝ち得た優勝です。

今回の特集では町民体育祭にスポットを当て、地域のスポーツ再発見企画として特集します。



真剣勝負の「激闘」



学校の順位に応じて学区の行政区にそれぞれ得点を配分する「小学校対抗リレー」。各小学校の児童たちが、大声援の中力走しました。

★★★★★  
小学校  
対抗リレー  
町内対抗  
採点競技



★★★★★  
町内対抗リレー  
町内対抗  
採点競技

必要なのは、「強さ」と「速さ」。—そして、地域の「きずな」。



★★★★★  
中学生  
対抗リレー  
町内対抗  
採点競技

今年の体育祭から町内対抗採点競技に導入された「中学生対抗リレー」。学区の順位に応じて学区の行政区にそれぞれ得点が配分されます。生徒たちは、全行政区の注目をあびるなか白熱したレース展開を見せていました。



巧みなバトンパス

選手たちは、夢中で走り、そしてバトンをつなぎました。ゴールを目指して…



interview ● 55周年を迎えた町民体育祭  
伝統とは変化の積み重ねだと思えます  
邑楽町体育協会  
会長 小林 滋由さん  
Shigeyoshi Kobayashi

町民体育祭は、幅広い年代の人が出場できる町民総参加のスポーツの祭典です。ですが、ここ数年の少子高齢化の影響により、行政区によっては選手を集めること自体が負担になっているという問題もあります。そこで、昨年の大会からプログラムの変更を行い、選手集めを各小学校（小学校対抗リレー）にお願いし、町体育協会グラウンド・ゴルフ部（グラウンド・ゴルフリレー）にも協力してもらいました。そして今年には各中学校（中学生対抗リレー）にもお願いしました。各行政区の選手集めの負担軽減を図るとともに、子どもからお年寄りまで出場できる大会へとさらに発展させました。

町民体育祭の歴史は長く重たいと思えますが、伝統とは、こうした変化の積み重ねだと思えます。時代に即したプログラムの採用で、幅広い年代の人たちの参加を促すことも、本来の趣旨に合致すると思えます。スポーツを通して、各地区の皆さんが一体となり、地域のきずなを深めることが大切だと考えます。



選手宣誓

←選手宣誓をする本郷江原の白澤健太さん、石川翔也さん、黒岩駿介さん（写真左から）



地域のスポーツ  
再発見企画  
特集

最大級のスポーツの祭典  
町民体育祭  
第55回

町内対抗リレーは、町民体育祭で最後を飾るプログラム。会場内が最高潮に盛り上がる競技と言っても過言ではありません。各行政区から選ばれたランナーたちの激戦を今年も見る事ができました。地域の威信をかけた一戦に、応援する人たちも熱い声援を送っていました



行政区のテントでは、応援する人たちが温かく選手の皆さんを迎えていました

### Ranking 成績 町内対抗採点競技の成績表

同点の場合は、町内対抗リレーの合計得点で順位を決定

1組			2組		
順位	行政区名	得点	順位	行政区名	得点
1	新中野 (33区)	29	1	本郷江原 (29区)	29
2	水立大黒 (23区)	25	2	馬場大林 (25区)	23
3	谷中蛭沼 (11区)	24	3	前瀬戸宿 (8区)	21
4	十三坊塚 (6区)	22	4	鶉新田 (14区)	21
5	天王元宿 (5区)	22	5	光善寺 (15区)	20
6	秋妻 (17区)	21	6	千原田向地 (9区)	20

## 今年の町民体育祭を制したのは!?

**1組優勝**  
新中野  
33区

2011年以来  
2年ぶりの優勝



出場選手の皆さん

### 選手一人ひとりが底力を発揮し、王座奪還!

町内対抗リレーで男女とも1位。圧倒的強さを誇った新中野チーム。町内対抗カクテルリレー2位、中学生対抗リレーにおいても1位を獲得。昨年に続き町内対抗リレーでアンカーを務めた斉藤雷大さんは、「昨年は町内対抗リレーで2位だったので、今年はリベンジのつもりで走り抜きました」と話してくれました。



出場選手の皆さん



↑コースの整備作業をする体育協会の皆さん  
舞台裏の人たちのチカラも大きいのです

実際ご家族で参加している人も数多くいました。その家庭によって町民体育祭の楽しみ方や、存在意義は違うかもしれませんが、ただ、いえることは、地域の幅広い年代が一堂に集まり、町民の皆さんが一体になれるイベントは、唯一町民体育祭だけなのです。



**2組優勝**  
本郷江原  
29区

昨年に続き優勝  
王者の貫禄を見せる

### 二連覇を果たした常勝チームの団結力は最強

町内対抗リレーで男女ともに1位に輝き、町内対抗カクテルリレーにおいても1位を獲得。2組の採点競技で独走体勢だった本郷江原チーム。強さの秘けつについて町内対抗リレーに出場した三ツ村文夫さんは、「チームの団結力と明るさ、そして活気が勝利を呼び寄せたと思います」と話してくれました。

### 選手も応援する人も みんな熱くなる体育祭

各地区の体育協会の理事・支部長の皆さんは、毎年選手集めに奔走し、大変苦労しています。近所付き合いがなくなっている時代だから仕方ないという人もいるかもしれませんが、  
しかし、体育祭の取材を通して、「出場してみたら、案外楽しかった」などというコメントや、「地域の人の顔を覚えられるよい機会になった」という話も聞くことができました。

## チームワークで勝利をつかみ取れ!

昨年の体育祭から男女200歳以上リレーが廃止され、男女混合障害物リレーと組み合わせられて新たに生まれ変わった町内対抗カクテルリレー。競技内容は、リム転がしと百足競争、ハードル跳び、網くぐり、二人三脚で、幅広い世代が出場できる競技になっています。

★★★★★  
町内対抗  
カクテルリレー

町内対抗  
採点競技



百足競争のポイントは、5人の息の合わせかた…



技術が要求される「リム転がし」



※昨年「リム転がし」は単独の競技種目でしたが、今年は町内対抗カクテルリレーの種目として導入されました。

## 笑いあり、楽しさふくらむ競技が盛りだくさん

町内対抗採点競技のほかにも子どもからお年寄りまで、幅広い世代で楽しめる競技があります。

↓団体・事業所対抗リレーでは、白熱した接戦が繰り広げられました



↑お年寄りによる玉入れ競争も毎年盛り上がっています

ミーも「団体・事業所対抗リレー」にスワンジャーと一緒に出場したにゃあ

タイヨウにゃん→



町内対抗  
グラウンド・  
ゴルフリレー

↓親子で一緒に楽しむ幼稚園対抗大玉ころがしリレー



### 走る! スワンジャー

あのタワー戦隊スワンジャーも  
団体・事業所対抗リレーに登場!



↑子どもから大人まで、みんなで楽しめるオープン競技の「みんなで綱引き」



↑子どもたちが、日頃の結束力を見せた  
スポーツ少年団対抗リレー